

# 平成30年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成30年8月21日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,403億円余
2. 前年同月比	-4.5% (6か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-4.0%(91.3%) : 非店頭-9.7%(8.7%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成30年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	841,341㎡ (前年同月比:-0.7%)
6. 総従業員数	18,028人 (前年同月比:-2.0%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 0.5%、1-3月 0.1%、2-4月 0.8%、 3-5月 1.0%、4-6月 3.4%、5-7月 1.0%

[参考] 平成29年7月の売上高増減率は-0.9%

### 【特徴】

- (1) 7月は、盛夏商材や各社趣向を凝らした夏の企画催事などが好調だったものの、異常気象やセールの前倒し、土曜日1日減に加え、一部店舗では改装工事による営業面積減もあり、売上高は4.5%減と6か月ぶりにマイナスに転じた。
- (2) 商品別では、雑貨が3.6%増と20か月連続のプラスとなった。増勢が続く化粧品(40か月連続増)が6.2%増と牽引した。UV対策商品やスキンケアがインバウンド・国内ともに伸ばしたことに加え、関連イベントも好評だった。
- (3) 衣料品と身のまわり品はセール前倒しの影響を大きく受けマイナス転換した。猛暑によりスーツやパンプスなどは不調だったが、スカート、ブラウスや、帽子、ハンカチ、晴雨兼用傘、サンダルなどは動いた。ラグジュアリーブランドも引き続き好調推移している。
- (4) 食料品は、ギフト商品や人気の高い食品催事が好評で前年をクリアした店舗も見られたが、天候与件による客数減が響きマイナスした。なお、中元商戦はほぼ前年並みであったものの、ネット受注は年々売上を伸ばしている。
- (5) 百貨店業界を挙げて27日から実施した「プレミアム サマー バザール」は、台風の影響を受けた28日を除き、衣料品の伸びが二桁を超える店舗も多く見られるなど、一定の成果が得られた。
- (6) 8月中間段階の商況は、2.8%増(8/15)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した: 4店、②変化なし: 5店、③減少した: 10店
- (3) 7月歳時記(クリアランス、夏休み)の売上 (同上/有効回答数13店舗)  
①増加した: 0店、②変化なし: 7店、③減少した: 6店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2018年07月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
<b>総 額</b>	<b>140,348,733</b>	<b>100.0</b>	<b>-4.5</b>
紳士服・洋品	10,200,050	7.3	-11.8
婦人服・洋品	24,252,742	17.3	-6.6
子供服・洋品	2,272,080	1.6	-5.4
その他衣料品	2,654,720	1.9	-12.3
<b>衣 料 品</b>	<b>39,379,592</b>	<b>28.1</b>	<b>-8.3</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>20,235,930</b>	<b>14.4</b>	<b>-6.2</b>
化粧品	13,666,893	9.7	6.2
美術・宝飾・貴金属	9,197,374	6.6	-1.5
その他雑貨	5,969,387	4.3	6.2
<b>雑 貨</b>	<b>28,833,654</b>	<b>20.5</b>	<b>3.6</b>
家具	1,531,087	1.1	-11.0
家電	656,130	0.5	-20.6
その他家庭用品	3,453,841	2.5	-15.0
<b>家庭用品</b>	<b>5,641,058</b>	<b>4.0</b>	<b>-14.6</b>
生鮮食品	5,524,461	3.9	-4.5
菓子	10,156,318	7.2	-2.8
惣菜	7,343,697	5.2	-2.8
その他食料品	14,204,558	10.1	-1.4
<b>食 料 品</b>	<b>37,229,034</b>	<b>26.5</b>	<b>-2.5</b>
食堂 喫茶	3,378,278	2.4	-5.3
サービス	1,969,684	1.4	-7.7
<b>そ の 他</b>	<b>3,681,503</b>	<b>2.6</b>	<b>-9.8</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商品券	3,686,052 千円	-4.8
従業員数	18,028 人	-2.0
店舗面積	841,341 m <sup>2</sup>	-0.7

営業日数	31.0 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が20か月連続のプラスとなった。また、衣料品が2か月ぶり、食料品が3か月ぶり、身のまわり品が7か月ぶり、家庭用品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が40か月連続、その他雑貨が8か月連続のプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-4.5</b>	<b>-</b>	<b>6か月ぶりマイナス</b>
紳士服・洋品	-11.8	-0.9	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-6.6	-1.2	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-5.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-12.3	-0.3	2か月ぶりマイナス
<b>衣料品</b>	<b>-8.3</b>	<b>-2.4</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-6.2</b>	<b>-0.9</b>	<b>7か月ぶりマイナス</b>
化粧品	6.2	0.5	40か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-1.5	-0.1	15か月ぶりマイナス*
その他雑貨	6.2	0.2	8か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>3.6</b>	<b>0.7</b>	<b>20か月連続プラス</b>
家具	-11.0	-0.1	3か月ぶりマイナス
家電	-20.6	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-15.0	-0.4	2か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-14.6</b>	<b>-0.7</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-4.5	-0.2	29か月連続マイナス*
菓子	-2.8	-0.2	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-2.8	-0.1	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-1.4	-0.1	3か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>-2.5</b>	<b>-0.7</b>	<b>3か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-5.3</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-7.7</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-9.8</b>	<b>-0.3</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-4.8</b>	<b>-0.1</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>